

# 富沢中学校生徒の体験学習実施

## マネースクールでお金の大切さ実感

平成22年11月17日(水)、18日(木)の両日、宮城第一信用金庫大野田支店で仙台市立富沢中学校の生徒3人を招き職場体験とマネースクールを開催し、生徒さんたちにとっては学校では触れることのできない、実際の金融機関での生の体験をしていただきました。

この企画は、中学校2年次における「社会体験学習」の一環として、警察、消防署、保育所、区役所、農園、流通業その他の民間企業等に生徒の受け入れを依頼し例年実施して来られましたが、金融機関への受け入れ依頼は数年ぶりとのこと。



初日は当金庫の矢野理事長の挨拶にて開講。その後、営業店内を案内し実際の「お金の重さ」を体験。特に模擬1万円札で1億円相当が入った時のジュラルミンケースの重さ(11Kg)や大量の硬貨の重さを体験し、驚いた様子でした。

今回の職場体験では、既存の資料を説明するに留めず、実際の伝票やパンフレットを使用し、「生の体験」にこだわりました。

さらに振り込め詐欺・多重債務等現在の金融にかかわる社会問題まで幅広く学んでいただきました。また、広く「社会人の体験」という意味で、金庫職員への挨拶や来店客への「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」の挨拶もしていただきました。最初は小さい声しか出なかった生徒さんたちでしたが、だんだんと大きな声が出るようになり、ロビーの明るい雰囲気作りに一役買っていただきました。

さらに、ごく身近な社会人の先輩として今年度入庫の支店職員から、社会人1年目として現在の職務の状況・感想や中学・高校の時代の過ごし方等の体験談も語っていただきました。生徒さん達には参考になったのではないのでしょうか。

「将来は金融マン」も考えておられる生徒さんたちだけに受講態度も大変真剣であり、講師となった職員も大変手ごたえを感じた次第です。お金の大切さについて生徒さんたちの将来に少しでも役立つよう祈ります。